

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)

現状と課題

- 病院や自宅で療養しながら学習を続ける児童生徒は、**治療や体調面でやむを得ず授業を欠席することがある。**
- 対面授業や同時双方向型配信授業だけでは教育機会の保障として十分でない場合があり、**オンデマンド型授業が必要になる場合がある。**
- 厳しい治療を受けながら**意欲的に学習を続けることに難しさを感じている児童生徒がいる。**

学習スタイルの特性を生かした
教育機会の保障

子どもの不安を軽減し、学びに向かう
気持ちを支える取組

オンデマンド型・同時双方向型の授業の実施⇒授業改善

個別最適
な学び

オンデマンド教材を導入した学習

教科の特性に応じた導入により
学習効果を高める

自主学習のための取組

オリジナル教材による併用授業



[放課後学習して提出]

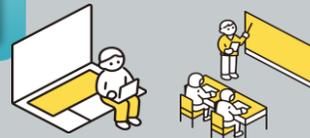
気持ちを
支える

学びに向かう意欲を引き出す取組

分教室紹介・中学校体験学習
リモートオープンキャンパス

人や社会とつながる取組

リモート交流（行事参加・復学）
学校探検



端末・タッチパネルディスプレイ（指導者側）・タッチペン・モバイルプリンターを使用

持続可能なオンデマンド型の授業の在り方検討

校内での成果共有

学習内容の精選

・桃陽スタンダードの作成

授業力の向上

・配信ハンドブック更新
・学習会

継続するために

桃陽ポータルサイト立ち上げ

・教材や動画、復学に向けた
ステップを共有



[桃陽ポータルサイト]

- ・リモートの交流で、学校に戻りたい気持ちが強くなった。
- ・入院中でも、学校訪問したような気持ちになった。参考になった。
- ・学校の様子を見て、行きたい気持ちが強くなった。

オンデマンド学習

- ・体調に合わせて学習できる
- ・見直しができる



- ・孤立感
- ・リアルタイムの質問が難しい
- ・出席コメントを求められる



- ・学校の様子がよくわかる
- ・出席確認してもらいやすい
- ・先生や友達の声は励みになる



- ・治療や体調で受けられないと欠席になる
- ・一度抜けると、ついていきにくい



同時双方向学習

学習スタイルの特性を生かして、
退院・転院・復学など新しいステップに向かう気持ちを支える

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)

子どもの不安を軽減し、学びに向かう気持ちを支える：子どもの状況や段階・時期に応じた取組

| | | 入院初期 | | 寛解期 | |
|---------------------------------|---|--|------------------|--|---|
| 学習スタイル | | 不調期 | 安定期 | 移行期 | |
| | | 思いを受け止めることを大切にして、 教科学習を進める | 教科学習 + 病気の理解を進める | 教科学習 + 復学への不安に 寄り添い期待を高める | |
| 学びに向かう 気持ちを 育てる段階 | 対面を中心とした 学習 同時双方向は、 一緒に学ぶ仲間が いることを知る機会 | 対面により、児童生徒の反応を確認しながら学習を進める 「やりたいこと」から取り組んでいけるようにする 分教室紹介 場所・人・何をするとこがわかることで不安軽減 | 行事交流・集会 | 対面での学習を継続しながら、リモート学習の機会も設定。行事や集会、リモート遠足など親しみやすいものから参加、音楽や体育など皆で取り組むことで、集団で学ぶ時間も保障 同時双方向型学習で分かりにくかった部分は、オンデマンドの動画で確認 併用学習では、治療や体調不良等で欠席や途中退室があった時 放課後や後日の学び直しができるよう、教材や提示の仕方を工夫 | 学校探検 児童生徒の初登校に向け、学校の様子を画像で確認し、教室の場所や約束事を知る 復学に向けた交流 |
| 自分で 課題に取り 組もうとする 段階 | 対面・同時双方向・オンデマンド併用の学習 オンデマンドでの学び方を知る オンデマンドをポイントの理解に役立てる | 初回の授業は対面になるようにするか、または、受け手側に教員がサポートに入る 前籍校との違いに戸惑う様子があれば、丁寧に聞き取る 体験者からのメッセージ 入院中の困り・不安や心配は誰にでもあることを提示 ⇒孤独感・不安の軽減 | | 中学校体験（小6） リモートオープンキャンパス（中3） 入院中の体験・見学をオンデマンドで補充 | |
| 自主学習 ができる 段階 (高校生) | 同時双方向・オンデマンド併用の学習 仲間を意識し、対話できる機会と自分の体調に合わせて学習する機会の両方を保障 | | | | |

成果

- ・ オンデマンド・同時双方向型との併用 → **個に応じた学習を進めるうえで、選択肢が増えた**
- ・ 「桃陽スタグート（桃陽指導計画）（仮称）」作成 → 病弱児の教育に合わせた**各教科の指導内容精選**
- ・ オンデマンドの学習状況・評価 → 提出物（ICT活用）+聞き取り → **フィードバックして次の学びへ**
- ・ 桃陽ポータルサイトで教材・動画・情報の共有 → **教職員負担軽減** → **持続可能な取組へ**
- ・ 分教室紹介 → 映像を見て不安軽減。出演した子どもは、自身の生活等を振り返る機会に
- ・ 体験者（高校生）からのメッセージ → 映像を見て、孤独感、不安の軽減

